



木造建築作品

～ 木の香りと、触れる温もりに包まれて ～



庄原市立東城小学校 校舎棟

東城小学校の歴史を伝承するために

昭和19年、東城小学校の旧校舎は、朽木順作翁の寄贈により建設、当時としては珍しいコンクリート造2階建ての立派な校舎であった。東城小学校では、現在も朽木順作翁と旧校舎について、子どもたちに道徳教育を通じ、感謝の気持ちの大切さを伝えている。

この大切に使われてきた貴重な校舎の遺構を残すため、旧校舎の資材の再利用や柱の位置を床に刻印する等し、デザインの継承と将来にその面影を伝承する取り組みを行っている。

また、中廊下は子どもたちの遊戯スペースとなる十分な広さを確保し、吹抜により上下階の空間を繋ぎ、自然光を天井のハイサイドライトから下階まで取り込むことで、明るい室内を実現している。

設計概要

- 施設名称 庄原市立東城小学校
- 設計建物 小学校校舎棟・学校給食共同調理場・ペレットボイラー機械室棟 他
- 所在地 庄原市東城町川東
- 建築主 庄原市
- 規模 延床面積 2,828.66㎡ 2階建
- 構造 木造(大断面集成材 庄原産杉・桧材) 一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- 設計期間 2011.3～2012.9
- 工事期間 2013.6～2015.2
- 設計監理 中電技術コンサルタント株式会社
- 施工 小林・宮田 庄原市東城小学校 特定建設工事共同企業体



中電技術コンサルタント株式会社



本社 / 〒734-8510 広島市南区出汐 2-3-30
tel 082-255-5501 (代)
tel 082-256-3359 (建築部)

「月刊 School Amenity」

2015年 8月号掲載





北広島島立壬生小学校 校舎棟

歴史と伝統を受け継ぐ

次世代の人材を育む

「北広島町立壬生小学校」は江戸時代に開塾した広島四大古塾「清高堂」に由来している。地域には毎年6月に行われる、ユネスコ世界無形文化遺産「壬生の花田植え」があり、児童も「子ども田楽」や「金管バンド」の一員として出演している。

街並みの景観を考慮した外観は、黒い木部や白い左官材料、石州瓦を基調とし、重厚感のあるものとした。内部は構造材と板材により木の香りが感じられ、ハイサイドライトから溢れる自然光により、明るく暖かみのある空間を実現した。地元産材に囲まれた教育空間で、次世代へ地域の歴史と伝統を受け継ぐ人材を育む場所となれば幸いである。

設計概要

- 施設名称 北広島町立小学校
- 設計建物 小学校校舎棟・渡り廊下・体育倉庫・倉庫・油庫・プロパン庫
- 所在地 北広島町有田 1234 番地
- 建築主 北広島町
- 規模 延床面積 3,175.83 m² 2階建
- 構造 木造(大断面集成材 広島県産杉材) 一部鉄筋コンクリート造
- 設計期間 2012.3～2012.12
- 工事期間 2013.2～2014.3
- 設計監理 中電技術コンサルタント株式会社
- 施工 錦・ジール特定建設工事共同企業体